

令和7年第1回美浜町議会定例会

(令和7年2月28日開議)

町長あいさつ（提案理由の説明）

先程は、副議長選挙が行われ、第57代副議長に辻井議員がご当選されました。心よりお祝いを申し上げますとともに「住民自治の根幹」である議会の適正かつ円滑な運営に存分にお力を発揮されますようご期待申し上げる次第であります。

なお、このたび退任されました中牟田前副議長には、議会の円滑な運営にご尽力され町政発展に寄与いただきました。心より感謝を申し上げます。

また、議会運営委員会及び各常任委員会の委員構成により、新たな委員長、副委員長が選出されました。新陣容のもと町政の発展にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

立春が過ぎ暦の上では春ですが、先週は厳しい寒波が到来する中、早朝より生活道路の確保に尽力いただいた除雪従事者の皆さんに心より御礼を申し上げます。

また、高速道路や国道で予防的通行止めが実施されましたが、大きな交通障害が回避できたとのことであり、自然災害に対する予防的措置の有用性が確認できたと考えています。

さて、今冬、日向漁港では寒ブリの水揚げが昨シーズンに続き5万本を超える空前の大漁となりました。好景気に沸く中、今年の水の中綱引きは、漁師町ならではの若者の気概と勇姿が織りなす一段と活気に満ちた伝統行事になったと感じています。

改めて、伝統行事や地域活動の果たす役割と意義を感じたところであり、地域の実情や特性に応じ柔軟に支援できる仕組みづくりに努めてまいります。

それでは、開会にあたり、町政諸般のご報告を申し述べますとともに、今回ご提案いたします議案等の概要についてご説明申し上げます。

はじめに、観光動向について申し上げます。

北陸新幹線敦賀開業から1年を迎えることとなりました。本町の令和6年の観光入込数は134万8千人で前年度に比べ約2割、宿泊者数は5万4千人で約1割の増となっています。これは、新幹線開業を見据え令和3年度に策定した美浜町観光振興計画が掲げる令和8年の目標値、観光入込数135万人は、ほぼ達成いたしました。宿泊者数は、目標の7割程度に留まっています。

一定の開業効果はあったと受け止めていますが、経済効果に繋がる宿泊者数の確保が課題であり、引き続き周遊滞在型観光の推進に努めてまいります。

次に、原子力政策について申し上げます。

この2月は、本町が進めてきた原子力と共生するまちづくりのこれからの方向性を示唆する機会を得ることができたと考えています。

先ず、10日に開催された嶺南地域の将来像に関する共創会議において、町の安全安心の最大限の確保に資する新庄・高島間の避難道路が、原子力防災や地域振興に資する道路の一つとして位置付けされました。

実現に向けた大きな一歩と受け止めており、尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、引き続き事業採択、早期実現に向け鋭意取組んでまいりますので、ご理解とご支援を心よりお願いする次第であります。

また、13日には、国と関西電力から「使用済燃料対策ロードマップ」の見直しについて報告を受けました。

本計画は、様々な観点から実効性や実現可能性を高めるべく検討を重ねられ、国や電力事業者間におけるオールジャパン体制も機能していることも伺い知ることができました。

また、エネルギーの安定供給等を責務として、原子力政策の円滑な推進に資するロードマップの実現と、先に示された避難道路の整備など立地地域の振興に取組まれる国や事業者の強い意志と覚悟の表れと理解したところであります。

引き続き、実現に向けた工程の進捗管理や検証の取組み、財源の確保など、ロードマップ等の実効性がより担保される点等について見極めたいと考えています。

そして、18日には、第7次エネルギー基本計画が閣議決定されました。

これにより、改正原子力基本法やGX推進戦略で示されてきた原子力の持続的かつ最大限の活用や立地地域の振興など、新たな原子力政策の方向性が揺るぎないものになったと理解したところであります。

こうした政策方針の下、原子力政策が安全を最優先に機動的かつ円滑に進められ、避難道路の整備など立地地域の振興が深化・充実、早期に具現化されることを強く望むところであります。

次に、『若狭湾プレミアムリゾートエリアプロジェクト』について申し上げます。

本事業は、嶺南地域に国内外から観光客を集客できるリゾートエリアの形成を目指し、県と嶺南6市町が連携して高級リゾートホテル等を誘致するものであります。

先般、公募を開始しましたが、本町から代表的な景勝地「水晶浜の見える丘」と「久々子湖の見える丘」の2か所を提示いたしました。誘致に繋がれば、美浜の魅力アップや周遊滞在型観光の推進、若者に魅力ある雇用の創出など波及効果が期待できることから積極的に誘致活動に取り組んでまいります。

次に、子ども・子育て施策について申し上げます。

国や県の子ども政策を念頭に、子育て世代の声や町の実情に促した「美浜町こども計画」を新たに策定し、子どもたちの成長の節目や妊娠から出産までのきめ細やかな支援、子育てと就労の両立を支援する施策等の充実強化に取り組んでまいります。

また、「美浜町遊び場整備基本計画」に基づき、県内初となるデジタル技術を活用した「きいぱす」の屋内遊び場の整備など、子どもたちが楽しく遊び安心して子育てできる環境づくりを進めてまいります。

また、子どもたちが生まれ育った地域に愛着を持ち、地域と繋がりながら健やかなる成長を育む施策に力を入れてまいります。

特に『ふるさと美浜元気プロジェクト』は、地域愛の醸成と人づくりを目的とする全国的にも評価の高い美浜独特のふるさと学習となっています。

活動は7年目を迎えており、その成果を発表するフォーラムが先月、開催されました。会場から児童たちの豊かな発想と主体性あふれる成長ぶりに称賛の声が多く聞かれるなど、回を重ねるごとに本事業の成果と意義を強く感じます。

指導いただいた教員の皆さんに敬意を表するとともに、こうした活動を行政や地域が強力かつ持続的にサポートする仕組みを充実強化したいと考えています。

また、学びと挑戦による人づくり「みはまシナプスプロジェクト」は、2年が経過し、子どもたちを中心に様々な活動が活発に行われています。

その一環となる公設塾「放課後教室サン」は、小中学生たちが自分の可能性を信じて様々な活動に意欲的に挑戦するなど、積極的で主体性に富んだ子どもたちを育むステージとなっており、その評価も高くなっています。

今年度創設した「学びコミュニティKai（カイ）」は、高校生が主体となり個別プロジェクトやイベントの企画・運営、多様な世代と繋がる実践活動に取り組んでおり、新たな学びと挑戦のステージが加わりました。

この春、こうした活動や交流の拠点「にぎわい交流センター」が開所しますので、ここを舞台に幅広い世代の学びと挑戦による「自分の可能性にワクワクする」、そんな人たちが増え、ひいては町の活性化に繋がる事を期待するところであります。

町としても、住民や企業、大学等と緊密に連携し、「共に創るまちづくり」を効果的に実践できる体制の強化に努めていきたいと考えております。

次に、美浜中学校開校50周年について申し上げます。

この3月に本校が開校50年の節目を迎えることから、これを祝し3月12日に記念式典を開催するとともに、シナプス先輩大学の講師、高木直也さんによる記念講演を行います。

また、記念事業として3月2日に、オリンピックメダリスト石川佳純さんをお招きし、子どもたちへの卓球の実技指導とトークショーを開催いたします。

日本を代表する先輩や選手の思考、技術を直に見聞きすることで、将来の夢や目標を見出し、達成に向けた意識と行動を醸成する契機になればと考えます。

次に、集落づくりの充実・強化について申し上げます。

「集落の元気が町の元気」との観点を持ち、集落の課題を区民が共有しその解決に官民協働で取り組む「集落元気プラン」の策定を勧めてまいりました。

現在、全集落の9割にあたる35集落が策定、地域の実情に即した様々な活動が実践されており、集落活性化への契機になったと捉えています。

また、独創性に富んだ活発な集落活動に発展した事例も多々認められ、先進的モデル集落としての波及効果も期待されています。

引き続き、これまでの課題や成果を踏まえ、集落の主体的な活動が持続的に実践されるよう強力に後押ししてまいります。

次に『第37回美浜・五木ひろしふるさとマラソン』について申し上げます。

5月11日「母の日」に開催する本大会は、歌手生活60年を迎えられた五木ひろしさんが2大会ぶりにお見えになり、前日はふるさとコンサートも開催されます。

ゲストに天童よしみさんや北京オリンピック出場の小林祐梨子さんを迎えるとともに、五木さんへのこれまでの感謝の意を込め、大いに盛り上がる大会となるよう、町民の皆さんのご参加とご協力をお願いする次第であります。

さて、本日ご提案いたしました各議案につきまして、その概要と提案理由をご説明申し上げます。

議案第1号 令和6年度美浜町一般会計補正予算（第7号）につきましては、歳入歳出それぞれ18億3,529万3千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ

124億6,887万円とするものであります。

本補正予算の主なものについて申し上げますと、総務費においては、路線バス運行維持事業に2,744万8千円を計上したほか、まちづくり基金に2億7,015万9千円、ふるさと応援基金に1億3,480万4千円、若者定住化対策基金に1億6,700万円をそれぞれ積立金として計上いたしました。

衛生費では、新清掃センター整備事業負担金として13億4,584万7千円を計上したほか、農林水産業費では、森林環境譲与税基金に1,299万1千円を積立金として計上いたしました。

消防費では、指定避難所の備蓄物資や備蓄防災倉庫の整備に要する経費などで、777万5千円を計上したほか、避難所の生活環境の確保や住民の防災意識の醸成を図る車両や資機材を整備する経費などで、3,490万6千円を計上いたしました。

教育費では、保護者の負担軽減や児童等の健全な育成を支援するため、入学時の制服購入費を助成する輝く未来へ新入学等応援事業に995万8千円を計上いたしました。

以上が今回の補正予算の主なものでありますが、これに見合う主な財源として、町税で3億6,771万2千円、県支出金で1億6,267万6千円、町債で13億1,480万円などを充当し、収支の均衡を図るとともに、国・県からの補助金や電源立地地域対策交付金等の特定財源を有効に活用するため、一般財源との財源補正を行ったところであります。

次に繰越明許費であります。総務費をはじめ7つの款で11事業、総額12億9,268万7千円を翌年度に繰越し実施することとしており、そのうち衛生費の廃棄物処理広域化事業、農林水産業費の中山間地域総合整備事業、消防費の地域防災緊急整備事業及び防災備蓄物資整備事業を今般の国の補正予算に伴う繰越事業として計上いたしております。

次に、議案第2号から議案第8号までの7議案は、各特別会計及び企業会計の補正予算ですが、それぞれの事業目的に沿った管理運営経費や事業費等の増減に伴う補正であります。

議案第2号 令和6年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、人件費や医薬材料費等の減に伴い、歳入歳出それぞれ625万8千円を減額し、予算総額を1億1,741万7千円とするものであります。

議案第3号 令和6年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）につきましては、人件費やシステム更新業務委託料等の減に伴い、歳入歳出それぞれ432万7千円を減額し、予算総額を11億3,132万8千円とするものであります。

議案第4号 令和6年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、人件費や備品購入費等の減に伴い、歳入歳出それぞれ226万3千円を減額し、予算総額を3億1,576万3千円とするものであります。

議案第5号 令和6年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、産業団地内の太陽光発電電力売払収入の「産業団地事業振興基金」への積立金として、歳入歳出それぞれ148万7千円を追加し、予算総額を468万9千円とするものであります。

議案第6号 令和6年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、西小学校前分譲地の整備費や住宅分譲補助金等の減により、歳入歳出それぞれ1,985万2千円を減額し、予算総額を3,150万1千円とするものであります。

議案第7号 令和6年度美浜町道路用地取得事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、一般会計への繰出金として、歳入歳出それぞれ3,763万8千円を増額し、予算総額を1億4,529万8千円とするものであります。

議案第8号 令和6年度美浜町下水道事業会計補正予算（第4号）につきましては、「集落排水処理施設整備事業基金」の基金利子として歳入歳出それぞれ10万6千円を増額し、予算総額を14億1,396万8千円とするものであります。

議案第9号 令和7年度美浜町一般会計予算につきましては、令和7年度が最終年度となる「第五次美浜町総合振興計画」及び「第2期美浜創生総合戦略」に掲げる事業の集大成として、また次期計画へ繋がる継続的な施策を中心に、重点的かつ厳選して予算を編成したもので、予算総額は87億6,387万9千円となり前年度当初予算額に比べ10億7,945万9千円の増となっております。

なお、令和7年度事業につきましては、子ども子育て支援をはじめ、福祉の充実や高齢者支援、地域づくり・人づくり施策を中心に新たな事業に取り組んでいくこととしていますが、施策の内容等につきましては、後期計画に位置付けた5つの優先施策に沿ってご説明申し上げます。

まず、「情報化社会の推進」に係る施策について申し上げます。

新たな情報発信ツールとなる美浜町公式LINEアカウントの開設や、デジタル地域通貨「ふくいはいコイン」を活用した美浜町専用財布の開設など、デジタル化による町の振興と住民の利便性の向上を図るDX推進事業に3,295万5千円を計上いたしました。

次に、「にぎわいゾーン整備」に係る施策について申し上げます。

美浜らしいにぎわいと交流を創出、学びを軸とするみはまシナプスプロジェクト事業に5,029万8千円を、なびあす子ども合唱団の子どもたちが主人公となるミュージカル開催に係る感動体験人づくり事業に600万9千円を計上しました。

次に、「北陸新幹線敦賀開業」に係る施策について申し上げます。

体験観光コンテンツの充実やSNSを活用した戦略的かつ効果的な誘客を推進する若狭みはま魅力発信事業に3,869万5千円を、美浜が旅の目的地となるイベントの実

施や宿泊施設の改修を支援する若狭みはま魅力アップ事業に2, 210万4千円を、北前船の史実を活かした地域づくり計画を策定する協議会の開催経費など北前船日本遺産活用事業に83万9千円を計上いたしました。

次に、「地域力向上」に係る施策について申し上げます。

集落元気ステップアップ支援など集落づくりサポート事業に913万6千円を、避難施設の充実強化を図る災害時対応力強化事業に7, 834万6千円を、空き家の活用による地域活動拠点の整備を支援する地域福祉活動集落センター整備事業に500万円を、町のアプリを活用した高齢者の見守り支援や通院支援など在宅高齢者生活支援事業に1, 491万1千円を、農村の交流人口の受け入れ施設を整備する農村発イノベーション推進事業に1, 200万円を計上いたしました。

最後に、「人口減少対策」に係る施策につきましては、デジタル技術を活用した全天候型の遊び場を整備するこどもの遊び場づくり事業に5, 563万4千円を、若者や子育て世代の移住・定住促進事業に3, 076万4千円を計上いたしました。

その他の各款の主なものといたしまして、

総務費では、次期美浜町総合振興計画の策定事業に790万6千円を、美浜ふるさと納税推進事業に1億1, 314万8千円を計上しました。

民生費では、福祉課題を包括的に支援する重層的支援体制整備事業に2, 655万8千円を、保健福祉センターはあとびあの改修事業に3億6, 070万円を、デイサービスセンターほほえみの改修事業に1, 430万8千円を計上いたしました。

衛生費では、健康支援あいあいアプリの改修はじめ「げんげん運動プラスアップ」を推進する健康みはま21推進強化事業に491万8千円を計上いたしました。

農林水産業費では、担い手農家の確保・育成を図る新規就農支援事業に1, 424万3千円を、町の森づくりプランに基づき実施する環境教育や森林整備管理工事など、わかさ美浜町森づくり推進事業に613万3千円を計上いたしました。

商工費では、東京日本橋の「熟成魚場福井県美浜町」の開店10周年記念イベント経

費など、美浜町ブランド魅力発信連携事業に175万6千円を、町の魅力の海外発信や外国人観光客への対応力の強化を図るインバウンド推進事業に445万4千円を、レイクセンター運営事業に5,863万3千円を計上いたしました。

土木費では、防災及び地域コミュニティの拠点となる集落施設等の整備費用を補助する集落コミュニティ施設等整備事業に1,052万1千円を計上いたしました。

教育費では、学習環境の充実・強化を図る経費など学校ICT教育推進事業に6,330万9千円を、興道寺廃寺跡の公有地化に向けた興道寺廃寺保存活用事業に7,730万3千円を、美浜・五木ひろしふるさとマラソン運営事業に2,474万8千円を計上いたしました。

一方、歳入予算につきましては、町税が40億924万4千円、国庫支出金16億3,957万9千円、県支出金12億6,208万2千円、繰入金9億3,691万4千円などをそれぞれ充当し、収支の均衡を図った次第であります。

次に、議案第10号から議案第17号までの8議案は、令和7年度の各特別会計及び企業会計の予算であります。

これら各特別会計及び企業会計は、それぞれの設置目的に沿って事業の運営経費や建設事業費等の所要額を一般会計に準じて計上したものであり、診療所事業など6特別会計の予算総額は25億4,360万7千円、また、上水道事業会計と下水道事業会計の2企業会計の予算額は21億1,988万7千円であります。

各会計に係る予算総額等を申し上げますと、

議案第10号 令和7年度美浜町診療所事業特別会計予算につきましては、外来患者等の減に伴う医療材料費の減が見込まれることから、対前年度比85万8千円減の1億2,227万4千円を計上いたしました。

議案第11号 令和7年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算につきましては、被

保険者数の減に伴う国民健康保険事業費納付金等の減により、対前年度比5,080万5千円減の11億2,030万1千円を計上いたしました。

議案第12号 令和7年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増により、対前年度比329万1千円増の1億6,547万3千円を計上いたしました。

議案第13号 令和7年度美浜町介護保険事業特別会計予算につきましては、居宅介護サービスや施設介護サービス給付費等の増により、対前年度比150万円増の11億1,516万4千円を計上いたしました。

議案第14号 令和7年度美浜町産業団地事業特別会計予算につきましては、企業誘致促進費等の減により、対前年度比83万7千円減の236万5千円を計上いたしました。

議案第15号 令和7年度美浜町住宅団地事業特別会計予算につきましては、住宅団地整備費等の減により、対前年度比781万2千円減の1,803万円を計上いたしました。

議案第16号 令和7年度美浜町上水道事業会計予算につきましては、令和7年度から簡易水道事業特別会計を本会計に統合したことにより、対前年度比3億4,084万円増の8億1,443万9千円を計上いたしました。

議案第17号 令和7年度美浜町下水道事業会計予算につきましては、汚水管渠布設工事等の減に伴う建設改良費の減等により、対前年度比1億6,565万3千円減の13億544万8千円を計上いたしました。

議案第18号 美浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び美浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、職員の仕事と育児・介

護の両立しやすい環境を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第19号 美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定につきましては、一般職の国家公務員の給与改定を踏まえ、一般職の職員の給与の見直しを行いたく、本案を提出した次第であります。

議案第20号 美浜町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、特別職の国家公務員の給与改定等を踏まえ常勤特別職の期末手当の支給割合を改定したく、本案を提出した次第であります。

議案第21号 美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、一般職の職員の給与改定等を踏まえ、会計年度任用職員の給料の見直しを行いたく、本案を提出した次第であります。

議案第22号 美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定につきましては、県内各市町の国民健康保険税算定方式の統一に伴う税率の改正を踏まえ、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第23号 国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定につきましては、同法律の施行に伴い関係条例を整備する必要が生じたことから、本案を提出した次第であります。

議案第24号 美浜町にぎわい創出拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定につきましては、にぎわい創出拠点施設を公の施設として設置し、その管理運営に関する事項を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第25号 美浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきましては、国の同基準の一部改正に伴い、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第26号 美浜町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきましては、国の同基準の一部改正に伴い、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第27号 美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきましては、栄養士法の一部改正に伴い、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第28号 美浜町水道法施行条例の一部を改正する条例の制定につきましては、水道法施行令等の基準に従い水道技術管理者等の資格要件を緩和したく、本案を提出した次第であります。

議案第29号 美浜町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の全部を改正する条例の制定につきましては、企業職員の給与制度を適正に運用するため、一般職の職員の給与の例による改正を行いたく、本案を提出した次第であります。

議案第30号 福井県市町総合事務組合理約の変更に関する協議につきましては、同組合を組織する団体の名称変更に伴う規約の変更に関して、関係地方公共団体と協議する必要があるので、本案を提出した次第であります。

議案第31号及び議案第32号につきましては、美浜町福祉支援センターあいぱるの指定管理者の候補者として、美浜町公の施設指定管理者選定審議会の意見を聴いて、特定非営利活動法人ヤングオールドほのぼの家族いまいを選定したので、指定管理者として指定したく議会の議決を求めるものであります。

議案第33号 美浜町丹生漁港環境広場の指定管理者の指定につきましては、美浜町公の施設指定管理者選定審議会の意見を聴いて、丹生漁港環境広場管理組合を選定したので、指定管理者として指定したく議会の議決を求めるものであります。

以上、ご提案いたしました議案について、それぞれ概要をご説明申し上げましたが、不備な点等につきましては、その都度、私又は関係者からご説明申し上げますので、何卒慎重ご審議の上、妥当なご決議を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶と提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。